**ＥＳＤＧｓ通信２１６号【教育長さんの夢、6年かけて結実へ】**手島利夫

　まだまだ猛暑は終わりそうもありませんね。皆様、いかがお過ごしですか。

9月2日に八千代市立大和田中学校（大小田泰一郎校長）の校内研修会にお招きいただ

きました。同校はユネスコスクールのキャンディデート校とのことで、研究主任さんがこ

の5月8日・9日に行われたユネスコスクール入門講座研修会にご参加されていて私の話

を聞き、「あの時の話を校内の先生方にも直接聞かせてほしいのです」と校長先生に相談

して下さり実現した研修会でした。

　ユネスコスクール入門講座についてはＡＣＣＵ ＮｅｗｓNo.420 添付記事 参照

同校に伺ってみると、校長先生が着任２年目のこの春に、教育目標を「新たな自分の発

見」に変えていらっしゃいました。

その教育方針としては、

1. 自ら考え行動する態度の育成に努める
2. 個人の尊厳を守り、多様性の視点をもち、人との関わりを通して、対話から合意を目

指す態度の育成に努める

1. 自主的な行動の場を設定し、「生徒が実現したい未来」を実現しようとする態度の育

成に努める

を掲げていらっしゃいました。

研修会では、激変を続ける社会においてこれらの教育目標や教育方針がどんな意味や価

値を持つのか確認しました。また、そのような学びを創るためにＥＳＤカレンダーやＥＳ

Ｄストーリーマップを活用することや、主体的で対話的な授業づくりでは「学びに火をつ

ける3つのステップ」を意識すること等について、ワークショップを交えながらお話させ

ていただきました。

　校長先生からは、教育長さんがＥＳＤの推進をされてきたというお話を伺いました。

　八千代市の小林伸夫教育長さんはご自身が同市内の小学校長だった時代からＥＳＤに取

り組んでいらっしゃいました。2018年12月に教育長にご就任されるとその半年後には八

千代市立小中学校(小学校２２校，中学校１１校) の全教員、及び教育委員さんや教育関

係行政担当者も含めて、計９００名程を対象にした教育講演会を開催され、**「新しい時代**

**の八千代市の教育を創る」**を主題に、ＥＳＤの研修会を開催されました。

これを受けて八千代市校長会も翌年には「**未来を拓き、豊かに生きる人間の育成**」～学

習指導要領の改訂を踏まえて、教育課程の一層の充実を図る～　を開催し、学習指導要領

におけるＥＳＤの重要性について再共有されました。その後、同市内では小学校を中心に

ＥＳＤの校内研究が盛んになったとのことでした。

　教育長さんが大きな夢を描き、リーダーシップを発揮されて、全市を挙げて本物の教育

を目指し、６年間という時間をかけて、中学校の実質的な教育改革までたどり着きつつあ

る現状に、大和田中学校でふれることができたのです。

　自宅に戻ってからＷｅｂ上で同市内の各中学校の教育目標を拝見しました。すると、ど

の中学校の教育目標にも持続可能な社会の創り手の育成につながるキーワードがずらりと

並んでいることに驚かされました。

「未来を拓き、豊かに生きる生徒の育成」～夢に向かって果敢に挑戦する生徒～

「気力あふれ知性と行動力豊かな生徒の育成」～明るい笑顔と挑戦する勇気～

「気力たくましく人間性豊かな生徒の育成」

「人間性豊かでたくましく生きる生徒の育成」～「生きる…」幸せを求めて～

「夢への挑戦」社会に貢献できる自立した生徒の育成！

「意欲を持ち理想に向かって最善を尽くす生徒、質問ができ、学び合いができる生徒…」

「未来社会を創造し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

「自ら考え、主体的に判断し、行動できる生徒の育成」

「人間性豊かな実践力のある生徒の育成」

「新たな自分の発見」

「未来を拓き、故郷を愛し、他者と次代を共創できる人材の育成」

「新しい時代を担う活力に満ちた国際人の育成」

　といった目標が並んでいるのです。

　その具体化については各校に課題があり、それぞれで工夫し、挑戦を続けていらっしゃ

るようで、改革は具体化・実質化の段階に進んでいるように感じました。

　つまり、

　学習指導要領総則第２「教育課程の編成」の１で示されている「教育課程の編成に当た

っては，学校教育全体や各教科等の指導を通し育成を目指す資質・能力を踏まえつつ，各

学校の教育目標を明確にするとともに，教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や

地域とも共有されるよう努めるものとする。その際、第５章総合的な学習の時間の第２の

１に基づき定められる目標との関連を図るようにする。」

を踏まえて、八千代市の全ての中学校で「教育目標の明確化」が進んできていること、そ

して旧来の教育目標が「持続可能な社会の創り手の育成」に向かって着実に書き換えられ

てきていることに大きな驚きと喜びを感じました。

　2030年のＳＤＧｓ実現には残り時間が少なくなっています。日本中そして世界中でＥ

ＳＤの実現ができているわけではありません。

世界の激変は日本の教育事情を考慮して、待ってくれるわけではないのも確かです。ど

んな世界を実現しようとするのか、そのために何をいつまでに、どのように進めなくては

ならないのか「目先のことで喜んでいるわけにもいかないな」とも分かっています。

・・・それでも、八千代市の躍進を前にするとうれしいものはうれしいのです。

・・・先日いただいたＥＳＤＧｓ通信へのコメントより・・・

8月の日本ＥＳＤ学会大会から早くも１か月ほど経ちました。

手島先生のご発表に首を縦に振りまくって拝聴しておりました。

先生の研究室の研究員にしていただきいたいと本気で思った次第です。

* そう思ってくださっただけでありがたいです。でも生活していけないよ。（手島）

・・・ある学校の校内研究会のふり返りメールで校長先生からこんなお言葉を・・・

本校の教科コラボ授業へのヒント（ＥＳＤカレンダー）に加え、「学びに火をつける」

こと、生徒が「問いを立てる」こと、教師はファシリテーターとして授業を組み立ててい

くこと等を学びました。

主体的な授業を経験してこなかった我々が主体的な授業を創作するのは難儀なことだけ

れど「やってみようよ！」と互いに思える研修でした。また、日々ESDの推進についてバ

ージョンアップされている手島先生の学び続ける姿勢に頭が下がります。

（失礼ながら･･･、知識偏重教育で育てられたはずの手島先生が授業の変革を起こし学校

を変え児童を変えてきたのだから、ずっと若い我々ができないはずがない！と、後日職員

会議などで振り返りたいと思っています）

※身に余るお言葉です。校長先生、ありがとう！（手島）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

「ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進研究室」室長　手島利夫

URL=https://www.esd-tejima.com/

　　 　 　　事務所：〒130-0025　東京都墨田区千歳１－５－１０

　　　　　 ☏＝ 03-3633-1639　 090-9399-0891

　　 Ｍａｉｌ＝contact@esdtejima.com

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

【参考】

ＥＳＤＧｓ通信：手島利夫が名刺交換させていただいた方等に配信している不定期なメル

マガで、約1９００名様に配信中です。

 contact@esdtejima.com　にメールでご連絡いただければ、登録・及び削除をいたしま

す。よろしくお願いいたします。